

# 月刊トマホーク通信

N o 33

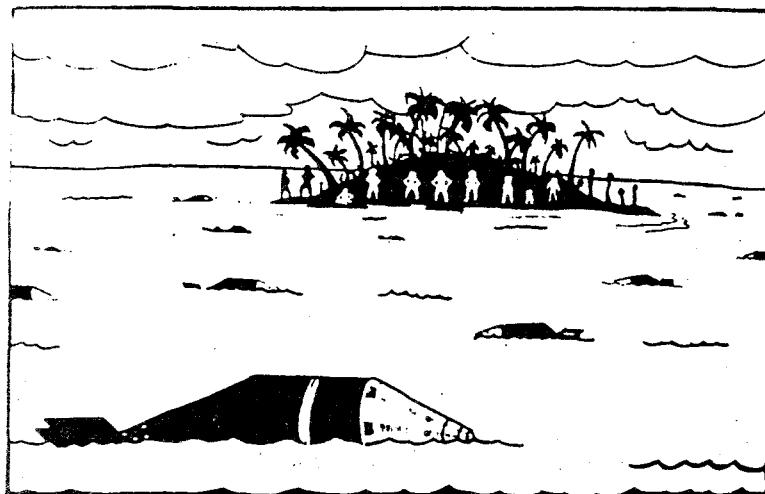
88.7.20

定価 100円

東京都渋谷区渋谷 2-5-9 パル青山 502 トマホーク通信  
03(498)6095  
044(63)5101

全国からハガキを、声を！

横須賀市長、神奈川県知事、米国大使、外務大臣に  
ファイフ、バンカーヒルの横須賀入港近し



## NFIP Network Reports より

横須賀からの報告  
海洋核とディビス・レポート  
ニュージーランドの平和運動

### トマホークの配備を許さない！全国運動

●維持会員（月間会費）

個人 1日 2000円  
1000円

●参加会員（月間会費）

個人 1日 1000円  
500円

●通信会員

年間 2000円

会費はすべて本紙購読料を含みます

あなたも仲間に！

「この夏に、ファイフ、バンカーヒルが八月にも横須賀に姿を現しそうな気配が濃厚です。FEN（米軍極東放送網）のニュース（別掲）が二隻が「この夏に」配備される、と報じたことはその有力な根拠のひとつです。

「八月入港有力」となるもう一つの理由は、オリンピック期間中（九月十七日～十月二日）に米海軍が予定している日本海での大軍事行動です。

マスコミの情報はとばしく、首都圏でも七月一日の「東京新聞」にのつただけなのです。が、これは「朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を牽制するために海軍力を派遣する」という米国の対韓公約を実行するもの。同じ時期には米韓、日米の最大規模の共同演習が予定されています。

「平和の祭典」オリンピックのかたわらで海を軍艦で埋めつくす。その一端を日本の自衛隊が百七十隻の艦船を派遣して担う。そして事実上の日米韓合同演習…。これ自体、余りにも問題の大きいことがらです。その行動

横須賀から

核トマホーク艦ファイフ、バンカーヒルの母港化反対署名が十三万人に達した。四年前、やはり横須賀市長あてで、核トマホーク配備反対を求める署名が六万人以上集まっていた。ちょうど二倍、四十八万市民の四人に一人以上に増えたことになる。

四年前には草の根からとにかく創り出そようと判断して、組織された組合の人々は最後に呼びかけようと思いつ、これまで色々な運動の呼びかけ人などになつたことのない人々を、呼びかけの代表に揚げて運動が創られた。

実際に原潜の寄港などを通じて核トマホーク配備は開始されてしまつたけれど、トマホーク配備阻止を運動として中断しなかつた。

## 十二万人の署名

新倉 裕史（ヨコスカ市民グループ）

## 市長に母港化反対を言わせたい

横須賀から

“配備されたから負け、母港化されたから負け”というのではなく、“来るまで本番、来てからも本番の闘い”なんだと思って四年間やつて來たことが生きてきた結果だらう。

実際に今回、ゼロから運動を作らうという感じは全くなかつた。デモをやるにしても、少ないときは三、四人しか集まらないこともあつたが、それでもやつてていることの証ではあつた。

新聞発表でその日の朝、原潜の入港が知られ、誰かがそれを読んだら、確実に他の数名の人々に知らせて少人数でも何かやるということを怠らなかつたことは事実だ。それらの流れを見ていた三浦半島教組などの組合の人々が本格的に合流し、一緒に運動できると判断できたときから運動は半分成功していた

## 緊急のよびかけ

## 横須賀市長、神奈川県知事、米国大使、外務大臣に

ファイフ、バンカーヒルの横須賀入港近し

ファイフ、バンカーヒルが八月にも横須賀に姿を現しそうな気配が濃厚です。FEN（米軍極東放送網）のニュース（別掲）が二隻が「この夏に」配備される、と報じたことはその有力な根拠のひとつです。

「八月入港有力」となるもう一つの理由は、オリンピック期間中（九月十七日～十月二日）に米海軍が予定している日本海での大軍事行動です。

に備えて日本近海に結集するだろう米艦隊の中にファイフとバンカーヒルが含まれていることはまず間違いないでしょう。

事態はいよいよ、大詰め、正念場を迎えるとしています。

● ● ● ●

広島、長崎の八月、この時を選んで、日本列島に核の発射台が据え付けられる。この様なことを許してよいものでしょうか。

私たちは、八月五日から十五日を、「トマホーク艦母港化反対 ヒロシマ＝ナガサキ・ヨコスカ・ウェーブ」（略称WHY）とし、全国から母港化反対の声を集中する事を呼びかけます。

アクションをおこしましょ。

①ハガキを出して下さい。宛先は横須賀市長、神奈川県知事、米国大使、そして外務大臣。五〇〇〇枚のハガキが集中すれば相当の力になるはずです。きれいな四連の絵ハガキがあります。一シート四十円（十シート以上なら一シート三十円）でお分けします。トマ

ホーク艦母港化反対 ヒロシマ＝ナガサキ・ヨコスカ・ウェーブ（略称WHY）とし、全国から母港化反対の声を集中する事を呼びかけます。

横須賀では、八四年を倍する十三万の市民の署名を背景に市長との第一回の対話集会が七月十九日に開かれました。神奈川でも県知事との交渉が間もなく開かれます。

神奈川、横須賀での運動の成果は静かに、しかし確実に母港化を止めるのに有利な状況をひろげつつあります。大和、茅ヶ崎の両市議会では配備撤回の意見書が採択され、県議会でも「非核三原則の遵守」を求める意見書が採択されました。これらの動きの背後に、ジャクソン・ディビス博士の「核事故アセスメント」の衝撃があることは確実です。

もうひと押しです。全国からの声を、今こそ、さらにさらに強く！

“この夏に、ファイフとバンカーヒルは横須賀に配備”  
—FEN放送より

… little impact (on the local area) is expected later this summer when the last two Knox-class frigates, the USS Kirk and the USS Francis Hammond, will be replaced by newer ships, the USS Bunker Hill and the USS Fife. (From "FEN Journal", on June 21, 1988)

現在横須賀配備となっている最後の2隻のノックス級フリゲート艦カーラーとフランシスハモンドの代わりとして新装備艦バンカーヒルとファイフがやがてこの夏に横須賀に配備されるが、地元地域に対して影響はほとんど無いものと予想される。（米軍極東放送網「FENジャーナル」1988年6月21日放送より）

ファイフ、バンカーヒルが八月にも横須賀に姿を現しそうな気配が濃厚です。FEN（米軍極東放送網）のニュース（別掲）が二隻が「この夏に」配備される、と報じたことはその有力な根拠のひとつです。

「八月入港有力」となるもう一つの理由は、オリンピック期間中（九月十七日～十月二日）に米海軍が予定している日本海での大軍事行動です。

に備えて日本近海に結集するだろう米艦隊の中にファイフとバンカーヒルが含まれていることはまず間違いないでしょう。

事態はいよいよ、大詰め、正念場を迎えるとしています。

● ● ● ●

広島、長崎の八月、この時を選んで、日本列島に核の発射台が据え付けられる。この様なことを許してよいものでしょうか。

私たちは、八月五日から十五日を、「トマホーク艦母港化反対 ヒロシマ＝ナガサキ・ヨコスカ・ウェーブ」（略称WHY）とし、全国から母港化反対の声を集中する事を呼びかけます。

アクションをおこしましょ。

①ハガキを出して下さい。宛先は横須賀市長、神奈川県知事、米国大使、そして外務大臣。五〇〇〇枚のハガキが集中すれば相当の力になるはずです。きれいな四連の絵ハガキがあります。一シート四十円（十シート以上なら一シート三十円）でお分けします。トマ

「神奈川縣署」 7月4日

なる。従って逗子の米軍住宅のようだ、建設が日本政府の手に委ねられている場合は難しうが、横須賀のように米軍が直接建築・管理を行っている場合は十分適用の対象となり得るのではないか。核の有無を明らかにしないという米国の政策をどこまで突き崩せるか、など問題はあるが、実際にどこまで使えるか議論してみる必要があると思つ。

六八年、米軍がB52に積んでいた核兵器をグリーンランドに落としてしまった際、領有国であるデンマーク政府の強い抗議によつて、米国は放射能に汚染された氷を本国まで

「米の環境法」基に訴訟も  
横浜市大の教員見教授示唆

# 横浜市大の 驚見教授示唆 市民の直接行動へ道

市民の母港化反対の世論はゆるぎないものであることが明らかになつた。これも四年前六万の署名を携えていたとき、横山市長は署名の数を見て、「私はこの署名運動の先頭に立つ」と宣言した。市長は、ヒロシマの原爆で実弟を亡くして、非核都市宣言とか、ましてや反安保じゃなくて、自分独特のスタイルで外務省に文書を送つたりとか足を運んだりする形で、「市民の不安に応える」ために非核の行動を進めてきた人です。

彼が言うには、「日本政府が非核三原則を守る」のが最も確実な非核の方法で、「日本政府がウソをついているとは思えない。政府がウソをついていると思ったら、自治体は終り」なんだそうだ。市長の「非核の取り組みを宣伝する広報誌を発行したり、トマホーク問題で市民運動から要請があつた時は欠かさず面会したり、決して非核をサボっているわけではないと認識している。むしろ自分が市民に励まされているつもりの様子だ。」といろがその横山市長は、今回の母港化問題について「拒否しない」「核疑惑は何ひとつない」と居直ってしまっている。市議会野党の社会党、共産党すら母港化反対の決議要

NEPA（米国家環境保護法）の中にある「公共の利益」の概念は、日本のそれと全く異なっている。日本の場合は、住民に様々なものを押しつける手段として使われている。NEPAでは「自然環境を守る」とか、「史跡保護」などの要素が「公共の利益」に包括されており、「公共の利益」保護のために環境評価書の作成を義務づけている。

「環境に国境はない」の言葉通り、米国外における米国の活動についても適用の対象と

持ち帰って処理したそうです。本当にどうしようもない日本政府を相手にする時、力関係だけでものを考えるのではなくて、色々な手段で正当性を主張することが必要でしょ。

求も出していない。何がなんでも自治体を動かさないといけない。市長が「母港化反対」を完全に言い切るまでカンヅメにして『団交』するつもりで、今回の七月十九日、「市長との対話集会」が設定される形になった。

日本が核軍事基地に環境の側面からメスが加えられたのは、歴史上初めてのことである。デイビス・レポートは日本社会にも確実なボディ・ブローを喰わせ、その影響は今後とも尾を引くであろう。その兆しはすでに現われている。

デイビス・レポートは、カナダではピクトリ亞市長が核軍艦寄港についての公聴会の開催をマルルニ首相に要求したあとを受けた登場した。オーストラリアでは、上院が軍艦寄港についての特別委員会による審査活動を受けたデイビス・レポートが発せられた。デイビス・レポートは、軍艦寄港時に非核確認を要求する国会決議と関連して研究がとり組まれた。そして、日本では、ファイフ、バンカーヒルという二隻のトマホーク艦の母港化計画に対する反対運動の中で、デイビス・レポートが発せられた。

## 広島で「ファイフ・バンカーヒル母港化反対署名一万人を突破!」

日本が核軍事基地に環境の側面からメスが加えられたのは、歴史上初めてのことである。デイビス・レポートは日本社会にも確実なボディ・ブローを喰わせ、その影響は今後とも尾を引くであろう。その兆しはすでに現われている。

デイビス・レポートでは、軍艦寄港時に非核確認を要求する国会決議と関連して研究がとり組まれた。そして、日本では、ファイフ、バンカーヒルという二隻のトマホーク艦の母港化計画に対する反対運動の中で、デイビス・レポートが発せられた。

わずか二年の間に世界の港をかけぬけたデイビス・レポートは、海洋核に対する世界的な抵抗運動、とりわけ核艦船寄港反対運動を貫く一つの精神を体現している。それは、港の周辺に住む住民が、自らの運命を選択するという自己決定の欲求を基礎にすることによって、グローバルな情勢への共同闘争が組み合っている精神である。

しかし、残念ながら、日本の場合、この自治の原理はまだ根づいていない。そのことは、日本では基地の核事故の環境アセスメントが、住民が日々の生活を計画するときの基礎的な仕事であり優先度の高い政治課題であるという共通認識にまだなっていない。電力につながる原発は生活に密着しているが、軍艦は生活に密着していない、という不思議な断層も生じている。

デイビス・レポートの重要なことを考えるとき、それが単なる科学書ではなく、市民の自治意識にくり返しきり返し問いかけている啓蒙書の原理はまだ根づいていない。そのことは、日本では基地の核事故の環境アセスメントが、住民が日々の生活を計画するときの基礎的な仕事であり優先度の高い政治課題であるという共通認識にまだなっていない。電力につながる原発は生活に密着しているが、軍艦は生活に密着していない、という不思議な断層も生じている。

デイビス・レポートでは、軍艦寄港時に非核確認を要求する国会決議と関連して研究がとり組まれた。そして、日本では、ファイフ、バンカーヒルという二隻のトマホーク艦の母港化計画に対する反対運動の中で、デイビス・レポートが発せられた。

ピース・スピリット88広島実行委員会が独自に取り組んできた、広島の自治体にトマホーク艦の横須賀配備反対を要請する署名は、七月十一日現在で一万名を突破し、10110名に達した。

広島実行委員会では、これを第一次の集約

として七月下旬に関係機関に提出し、広島の自治体として政府や米国に被爆地からの声を出すよう申し入れる予定となっている。また、同実行委員会では、この署名を十二月末まで続けようとしている。米軍の計画では、ファイフを九月末、バンカーヒルを十二月末までに配備するとしているからだ。

この五~六月、広島では岩国行動(5~10)の実行(10~22)、米軍艦の呉入港への抗議行動(5~27~30)、対県交渉、デイビス博士の報告集会など多様で精力的な取り組みが行われてきた。署名が一万人を突破したことにはこうした運動の成果であろう。

## 海洋核とデイビス・レポート

### —核兵器と原子炉の事故を結ぶ—

宏道 梅林

W・ジャクソン・デイビス博士の核事故分析が大きな反響を呼んでいる。前号の反トマホーク通信に日本での分析結果の要点が紹介されているが、ここではデイビス・レポートをもう少し全体的な文脈でとらえ返しておきたい。

まず第一に、デイビス・レポートは、世界的な海洋の核軍拡に対抗する世論を背景にして生まれ、生まれることによってその世論を一層高めるのに大へんに貢献してきたということがある。デイビス博士が、最初に軍艦上で核兵器事故が環境に及ぼす影響を単に言葉による説明ではなくモデル化して数量的に分析(定量的分析と呼ぶ)したのは一九八六年八月であった。この仕事は、同年八月十四日に開催された戦艦ミズーリ号のサンフランシスコ母港化問題についての海軍の公聴会のために準備されたものである。同年、博士はこの研究を軍艦推進用原子炉の事故にも広げ、その後のデイビス・レポートの原型をつくりた。

アメリカにおける戦略的母港化計画(レー

### 由田治郎議院見へ の問い合わせ

ガノ政権の六百隻海軍構想のもとで、軍艦の母港を各地に分散する計画)に対してデイビス・レポートは重大なインパクトを与えた。アメリカ政府は、アメリカ国内においても特定の艦が核を積んでいるかどうかを否定も肯定もしない政策をとっている。従って核兵器事故についての正面切った論争は成立せず、議論は一方交通にならざるを得ない。しかし、デイビス・レポートは確実に入々に真実を考えさせる役割を果たし、母港化計画に無視できない重圧を課すことになった。「情報なしに政策の選択をなし得ない」という、デイビス博士の主張がそのまま政治的な力となつた。

今年の三月、デイビス・レポートはニューヨークにおける戦艦アイオワの母港化問題にも一石を投げるところになった。アメリカの母港化問題を要約すれば、新サンフランシスコ市長はミズーリ母港化を拒否する姿勢を打ち出し海軍は再考の兆しを見せてくる。ニューヨークでは一部着工が伝えられるが市民の抵抗が激しさを増している。



（た）、ニュージーランドの人々の親切さに助けられて、ずいぶんいろいろなことを体験させてもらった一年間だったと思う。

昨年八月のピースウォーカーが、ニュージーランドの平和運動に触れるきっかけだった。総選挙にむけて、ニュージーランドの非核政策の継続・発展を訴えようと、一ヶ月かけて北島四〇〇キロを縦断。わたしは最後の一週間のみの参加だったが、以後ニュージーランドの平和運動にやみつきになるだけの魅力を、このピースウォーカーはそなえていた。

参加者は、ニュージーランドをはじめオーストラリア・アメリカ・西ドイツなどから最終的に三百人を越え、主婦・ジャーナリスト・労組員・看護婦・大学教官・失業者・平和活動家・学生・宗教者・ヒッピーまで、文字通りあらゆる階層の人々が一ヶ月間寝食をともにした。親についている小さな子どもが

北島四〇〇キロを縦断。わたしは最後の一週間のみの参加だったが、以後ニュージーランドの平和運動にやみつきになるだけの魅力を、このピースウォーカーはそなえていた。

参加者は、ニュージーランドをはじめオーストラリア・アメリカ・西ドイツなどから最終的に三百人を越え、主婦・ジャーナリスト・労組員・看護婦・大学教官・失業者・平和活動家・学生・宗教者・ヒッピーまで、文字通りあらゆる階層の人々が一ヶ月間寝食をともにした。親についている小さな子どもが

北島四〇〇キロを縦断。わたしは最後の一週間のみの参加だったが、以後ニュージーランドの平和運動にやみつきになるだけの魅力を、このピースウォーカーはそなえていた。

参加者は、ニュージーランドをはじめオーストラリア・アメリカ・西ドイツなどから最終的に三百人を越え、主婦・ジャーナリスト・労組員・看護婦・大学教官・失業者・平和活動家・学生・宗教者・ヒッピーまで、文字通りあらゆる階層の人々が一ヶ月間寝食をともにした。親についている小さな子どもが

多いのにも驚かされたが、「学校へ行くよりこっちの方が勉強になるし楽しい」とはつきり言う彼らに二度びっくり。何人もの行きずりの旅行者が、途中からピースウォーカーに合流してくるのも新鮮な光景だった。

#### 非核政策と草の根の力

参加者たちは、最終地点のタウポで総選挙の投票をし、その夜遅く労働党の圧勝が伝えられるや、歌って踊っての大騒ぎに。

野党の国民党は、一貫してANZUS支持

を打ちだし、労働党政府の非核政策を批判して

きたが、今回の総選挙において、圧倒的多

数の国民の声が非核を支持していることに押

され、および勝の非核政策を公約に掲げざる

をえなくなっていた。それが「外交・防衛政

策には争点がなくなった」という印象を海外

に与える原因になつたが、内側から見るかぎ

り、この点での国民党の弱腰、対して労働党

の態度の明快さと高い人気は明らかだった。

総選挙の二ヵ月前に三年ごとの選余曲折のす

え誕生した「ニュージーランド非核法」が、

労働党の勝利を決定的なものにしたこと、も

たしかなところである。

一九八四年の総選挙で、「非核」「核艦船

## 非核の国ニュージーランドの草の根平和運動（1）

山田 純子



山田さんは昨年五月から丸一年ニュージーランドに滞在し、各地の草の根平和運動を見聞してこのほど帰国した。核艦船を拒否し、名実ともに非核の国であるニュージーランドについて、数回にわたって紹介してもらう。

\* \* \*



「VOTE」—「非核の党に投票を」の横断幕を掲げて市内行進

#### ピースウォーカーがやみつきに

ニュージーランドの空は静かで青い——これがあの国に着いたときの第一印象だった。そして、（思いこみばかりでなく）「核のない国に住むことがこれほど心身を解放するものか」と実感したのも、この国に住み始めてまもなくのことだった。

英語のわからなさには相当まいったが（これは結局、一年後にも完全には克服されなか

った）、「非核の国（ニューカリアー・フリー・カントリー）」——なんと魅力的な響きを持つことばだろう。そんな国がこの同じ地球上に——遠い南半球ではあるけれど——存在するなんて。

「ロンギ首相、米国核艦船入港を拒否」を示唆——こんな新聞記事を目にすることになってから、徐々にわたしの中で、「核と原発だけの日本を逃げ出してニュージーランドへ行ってみたい」という不遜な（？）思いが育ってきた。それが爆発した形で、英語もまるつきりできず何のつても持たないオバサンが、一年間のニュージーランド生活をする」となったのだ。

#### ピースウォーカーがやみつきに

ニュージーランドの空は静かで青い——これがあの国に着いたときの第一印象だった。

そして、（思いこみばかりでなく）「核のない国に住むことがこれほど心身を解放するものか」と実感したのも、この国に住み始めてまもなくのことだった。

英語のわからなさには相当まいったが（これは結局、一年後にも完全には克服されなか

った）、「非核の国（ニューカリアー・フリー・カントリー）」——なんと魅力的な響きを持つことばだろう。そんな国がこの同じ地球上に——遠い南半球ではあるけれど——存在するなんて。

「ロンギ首相、米国核艦船入港を拒否」を示唆——こんな新聞記事を目にすることになってから、徐々にわたしの中で、「核と原発だけの日本を逃げ出してニュージーランドへ行ってみたい」という不遜な（？）思いが育ってきた。それが爆発した形で、英語もまるつきりできず何のつても持たないオバサンが、一年間のニュージーランド生活をする」となったのだ。

#### \* ニュージーランド、出前します

非核の国（ニューカリアー・フリー・カントリー）のピースグッズ（バッグ・ポスター等）とともに出前・出講・各種集会・学習会など、お気軽に声をおかけください。連絡はトマホーク（電話の場合は、月～金曜日15時）まで。

「東京新聞」1988.7.2

# ソウル五輪時に大演習

## 日米韓、日本海で 北朝鮮けん制

田米簾の日本海大陸——それをアーティストも構成する筆者

Congressman Jose Yap, Chairperson Committee on Defence, House of Representatives, Quezon City, Philippines

②フィリピン憲法に対する米海軍のうちつづく違反行為に対する抗議の手紙を書いていた  
だきたい。

## 脅威にさらされる 非核フィリピン法案

## フィリピン政府、議会、アメリカ政府へ 緊急の要請電報と手紙を

## 非核フィリピンを目指す運動に支援を

太平洋資料センター（ニュージーランド）からの手紙 1988.6.30

なるかについて困惑し、なんとか日本、オーストラリア、シンガポール、スペイン、イギリスを動かして、フィリピンの米軍基地を維持させるよう働きかけている。こうした、フィリピンの非核法案をそこなおうとする試みに反対しなければならない。

第四一三法案の起草者の一人であるウイグベルト・タニヤーダ上院議員は述べている。「二国間合意の期限が切れる一九九一年に米軍基地が撤去されるべきだ、というのは民

ang Palace, Philippines  
Secretary Raul Manglapus, Department  
of Foreign Affairs, Manila Philippin  
es  
Congressman Ramon Mitra, House of  
Representatives, Quezon City Philippi  
nes

会で審議されているフィリピン共和国新憲法では、現在フィリピンで実施する法律を制定するための非核条項を実施する法律を制定するため緊急の支援をよびかけている。

六月七日、フィリピン上院は、核兵器の開発、製造、取得、試験、使用、貯蔵と核艦船の通過、配備、寄港を禁止する法律を圧倒的多数で可決した。

現在、下院で審議中の同様の法律は、おそらくアメリカの拒否によって否決される」といふことになるだろう。アメリカ国務省は、上院法案第四一三号を厳しく批判し、それが「アメリカの艦艇、航空機、施設に核兵器が存在しているかいないかを確認も否認もしない」というアメリカの政策と相違しない」と非難した。

◎方言のところへは雷電や弓箭を及ぼす  
リピン憲法の非核条項へのあなたの支持と、  
この政策が直ちに執行、法制化されて実施に  
移されるべきであるという希望を表明して欲  
しい。

## 会計報告

(88.6.19-7.18)

## 〔収入〕

○前月からの繰越  $\Delta 640,981$   
 経常繰越  $\Delta 214,981$   
 借入金繰越  $\Delta 426,000$   
 ○会費収入 25,500  
 フ 維持団体 0  
 円 維持個人 3,000  
 記 参加団体 3,000  
 参加個人 15,500  
 通信会員 4,000  
 ○カンパ収入 62,000  
 ○反核ホットライン 23,500

計  $\Delta 529,981$ 

## 〔支出〕

●家賃(7月分) 40,000  
 ●電話代 10,390  
 ●郵送代 35,420  
 ●文具代 3,290  
 ●印刷代 10,700  
 ●反核ホットライン 21,620  
 ●行動費 2,000  
 ●雑費 650  
 ●郵便振替手数料 1,040  
 ●次月への繰越 計  $\Delta 655,091$   
 フ 経常繰越  $\Delta 229,091$   
 円 記 借入金繰越  $\Delta 426,000$

計  $\Delta 529,981$ 

8月6日(土)午後6時

千駄ヶ谷区民会館ホール

原宿駅下車 Tel 03-402-7854

午後6時

入場料/1人800円

みがけ日本はござれいのか市民連合/東京  
 いじめ市民の会/トマホークの会等を許すひ/首都  
 地域防衛戦争への道を許さない自慰の会/下北沢原  
 木半端にころる/東京連絡会  
 連絡先 (03)379-0048 日市連

当日 渋谷から奈良までモモもあござりま  
 午後2時集合  
 午後3時発  
 宮下公園

- 1核兵器の恐怖 広島の場合の服装には  
 ほしのワソノ神田香織  
 ヨーロッパの場  
 合の鈴木真奈美  
 ヨコスカの場  
 合の田巻一彦  
 2核汚染の恐怖 東京都の場合  
 3核艦船事故の恐怖  
 4核防災無策の恐怖  
 5核燃料サイクルの恐怖  
 6核侵略の恐怖  
 すべての発発の場合の自主  
 制作了ニ「核脅威」

## 出演者の横顔

鈴木真奈美 フリージャーナリスト  
 フリーランスとして多くのウェブ  
 ページや書籍で活動をしたヨーロッパ  
 各地の原発を取材

三井マリ子 おふくの原発は  
 おじいさんたちの姿を  
 おじいさんたちの姿を  
 おじいさんたちの姿を  
 おじいさんたちの姿を

神田香織 関税課・税理士、国税の会  
 税理士会などに、社会貢  
 献をとりあげる新しい税理士を志す中、  
 田巻一彦 トマホークの会員で政治家  
 が政治活動の分野でスラッ  
 フの原発の上場を目指さない立場の会  
 を立ち上げる新しい税理士を志す中、

下北連絡会 下北における原発の会  
 原発の会の会員が原発の会  
 おじいさんたちの姿を  
 おじいさんたちの姿を  
 おじいさんたちの姿を

世界的な環境科学者の警告  
衝撃のディビス・レポート

## 「日本の港に停泊した軍艦における核事故」

横須賀、佐世保、呉に対する想定事故シナリオの定量的分析

著者●W・ジャクソン・ディビス

発行●環境研究所

研究委託●核事故をアセスメントする会(代表: 大石武一元環境庁長官)

●A4版: 335ページ(日本語155ページ、英文180ページ)

定価●3,000円(送料別。送料1冊300円・2冊400円・3冊500円)

10冊以上の注文についての価格は相談に応じます。

## 注文先

核事故をアセスメントする会

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502

TEL 03(498)6095

郵便振替口座 東京 7-395899

\* 定価  
 \* 編集  
 一〇〇円 (通信会員年会員一〇〇〇円)  
 反トマホーク通信編集委員会  
 月刊反トマホーク通信  
 一九八八年七月二十日発行  
 トマホークの配備を許すな全国運動  
 青山五〇二トマホーク虫社  
 東京都渋谷区渋谷二一五一九バル  
 〇〇三(四九八)六〇九五  
 〇四四(六三)五一〇一